「Grow up」をテーマにツーピースキャンプ開催

第５回ツーピースキャンプ
テーマ；Grow up(育てる)
開催：2003年3月21～22日(前泊あり)
開催場所：八王子地区滝山キャンプ場

第５回ツーピースキャンプは、悲しいことに日本時間の２０日午前イラクでは戦争がはじまった翌日、滝山キャンプ場では一部雨が降ることもありましたが全体的には天気もよいなか北海道、岩手、神奈川、東京各地から３０名前後の参加者にお集まりいただき開催されました。今回のキャンプは全体を通して、Grow up (育てる)をテーマに、基地作り、記念品作り、ツーピース対戦、ハイパーピグレットなどを行いました。記念品としては、用意した生地を各自に縫ってもらい、さらにそれに第２回で製作されましたツーピースキャンプのロゴをアイロンプリントしたものを作成しました。又、今回、戦争が起こるかもしれないという状況で私どものTwoPeaceを行うに際して、TwoPeaceのシンボルマークであり、ヨーロッパで平和の象徴であるオリーブ※1と共にノーベル平和賞の受賞者たちが1999年4月4日に行われた国連人権宣言50周年の祝典でパリに集い、平和と非暴力の文化のために起草された、ユネスコのマニフェスト2000の一文を訳と共にしおりの表紙に入れさせていただきました。※1:正確には、オリーブを加えた鳩がヨーロッパでの平和の象徴であるかとおもわれますが、現在は鳩もオリーブも平和の象徴として扱われているため、ヨーロッパで平和の象徴であるオリーブとさせていただきました。　記　第５回ツーピースキャンプ実行委員長
八王子地区第７団滝沢
TwoPeace WEBサイトhttp://www3.to/twopeace

教科書だけが勉強でしょうか？

公立学校の週５日制が始まって時間が経ちました。喜んだ子もいれば、授業時間が少なくなって学力低下を懸念する声もありました。最近では、５日制を止めようとの声もでています。「もっと遊びたいよ」「ダメ！勉強しなさい」こんな親子の声が聞こえてきそうです。知識を深め、学力を身につけることは大切です。しかし、教科書で学ぶことだけが勉強ではないと思います。いろいろな遊びを通し学ぶこともあります。小動物やメダカやオタマジャクシを飼い観察するだけで、命の不思議さ、尊さを学びます。また、さまざまな友達付き合いを通し、社会に出た時の人間関係を学んでいます。大人がしばしば、口にする「あれはダメ」「これは危ない」は、子供の学ぶ機会を奪い、成長の「芽」をつぶすこともあります。その点、ボーイスカウトでは、スカウトのやりたいことの「芽」をしっかりと伸ばし、指導されていると思いますがいかがでしょうか？。教科書ではない教科書、大自然を友として、大いなる勉強をさせてほしいものです。そして指導者には、次のことを望みます。「この運動には目的と原理（方針）があり、原理を基盤に目的を達成することに意義と価値を認めること」　　匿名

トレーニングチームからのお知らせ

指導者講習会
日時：５月１８日（日）
場所：館事務所
団委員初任者研修会
日時：６月２２日（日）
場所：北野市民集会所
スカウトキャンプ研修会
日時：9月28日(日)　座講
場所：寺芝会館
日時：10月12日(日)～13日(月)祝日　実技
場所：地蔵山キャンプ場

編集後記

１５年度八王子地区登録数の集計が出ました。減少率は半減したようですが、まだ色々と対策が必要なようです。スカウト活動として最も有効なＰＲは、スカウト本人や保護者の方の口コミによる広がりがとても効果的です。是非お友達やご近所の方たちにもこのスカウト活動を紹介して頂き、沢山の仲間を増やしていきたいと思います。

スカウティング

日々の善行
そなえよつねに

はちおうじ

第18号平成15年4月25日発行
日本ボーイスカウト東京連盟
八王子地区・広報委員会
発行責任者：山下浩

仏舎利法要開催

今年の仏舎利法要は4月6日（日）10時30分から11時にかけて高尾山仏舎利奉安塔の前で行われた。この日は前日の雨もあがり、よく晴れたが、北風の吹く一寸寒い日であった。開会のセレモニーに続き、高尾山の導師による法要が行われ。その後、参加者（スカウトは代表）の礼拝が行われ、最後に導師のお話があり、閉会となった。閉会後は各団のプログラムに従って行動した。大部分の団は高尾山頂上に向かったようだ。開会のセレモニーの中で菊スカウト章及び宗教章の伝達と富士スカウトの紹介があった。

菊スカウト章は３名受章

菊スカウトは、７団の吉野 竜馬君・常盤木 将君・浜野 正太君の３名が佐藤地区コミッショナーより伝達された。
富士スカウトは13団落合章浩君が紹介された。

宗教章は２名受章

宗教章は５団VS隊佐藤 祐司君、13団VS隊小俣 功一君が、木村宗教委員長より伝達された。

写真（左）
富士スカウト13団落合君

滝山キャンプ場の整備

ゲートの移設実施

3月2日（日）午前9時より午後3時まで、各団の奉仕24名により、滝山キャンプ場の整備の一環として、ゲートの移設及び草刈りが行われた。作業は西側にあった使用されていないゲートを北側の入り口に移設。これには無償で譲り受けたブルトーザーが威力を発揮し時間内に移設することが出来た。また草刈りは北側斜面のフェンス沿いの林の中を行った。この日は良く晴れたものの北風が強く吹く寒い1日であった。

VS部門エクスプローラ

雪国生活の体験

平成14年度のVSエクスプローラは「雪国生活の体験」をテーマに平成15年3月20（木）～3月23日（日）3泊4日の日程で、長野県飯山市の民宿「ヒュッテ鈴荘」にて参加者スカウト6名、指導者4名合計11名で行われた。内容は・スキー訓練・かんじき作り・つる細工・そば打ちであった。スキー訓練は戸狩温泉スキー場で21日・22日の２日間行い、良い天気の中怪我も無く、対象者全員がスキー章を取得した。かんじき作りは、なべくら高原森の家講師２名により簡易的なかんじきを作った。翌日の朝礼の時に試してみたが、残念ながら雪が堅く固まっていたので効果が分からなかった。つる細工はヒュッテの女将の指導により、かご・ざる等思い思いの品物を作った。そば打ちは3人1組で行い、中にはうどん並みのそばも出来たが美味しいざるそばを満喫した。これにより竹細工章及び炊事章を取得した。尚、この雪国生活の体験にはVSとは別に8団BS隊のスカウト5名、指導者3名が参加している。

親子で映画鑑賞しませんか

連合育成会の全体事業として、学校の週5日制にともない、各方面から有効性が期待されているスカウト活動のPR、滝山スカウトの森キャンプ場の施設整備、日本ジャンボリーや海外派遣等の資金確保のため、加えて親子の絆を深めることも考えて下記の映画ロードショウを行います。この機会にスカウト、父母、友人、その他お誘いの上是非参加して下さい。
タイトル「走れケッタマシン～ウエディング狂騒曲～」監督　石塚克彦　出演　上条恒彦・美保純・新山千春・森脇史登　他
日時　平成15年5月17日(土) 10:00～
場所　八王子市民会館
会費　1000円　鑑賞希望者は各団に問合せ、又は当日会場にてチケットをお求め下さい。
劇団ふるさときゃらばんウェブサイト
http://www.furucaracinema.com/

平成15年登録数総計870名

団	団委員	ビーバー 指導者	ビーバー スカウト	カブ 指導者	カブ スカウト	ボーイ 指導者	ボーイ スカウト	ベンチャー 指導者	ベンチャー スカウト	ローバー 指導者	ローバー スカウト	計 指導者	計 スカウト	合計
1	14	3	3	3	5	2	5	2	3	0	4	24	20	44
2	12	4	3	4	10	5	22	3	6	1	1	29	42	71
3	12	2	2	6	5	3	12	2	5	2	8	27	32	59
5	12	4	9	11	22	5	14	5	2	2	10	39	57	96
6	13	5	1	9	15	9	11	4	6	4	11	44	44	88
7	14	4	5	6	14	4	12	2	8	0	1	30	40	70
8	13	1	3	4	10	6	12	2	4	2	3	28	32	60
9	16	2	4	4	9	6	7	2	7	1	6	31	33	64
10	9	3	6	2	13	4	13	1	3	1	2	20	37	57
11	13	3	4	7	11	3	13	2	6	2	2	30	36	66
12	17	4	4	6	6	6	6	4	3	2	3	39	22	61
13	15	3	1	4	3	3	3	3	7	2	8	30	22	52
14	12	0	0	6	4	6	4	2	2	2	4	28	14	42
15	11	0	0	4	7	2	9	3	4	0	0	20	20	40
計	183	38	45	76	134	64	143	37	66	21	63	419	451	870
合計		83		210		207		103		84		870		

平成15年度の登録人数は上表のようにスカウト451名、指導者419名合計870名で、14年度に比べ－5.5%となった。減少率では14年度の－11%に比べ半減している。

宗教講演会開かれる

さる平成１５年３月１３日木曜日、東京築地本願寺にてボーイスカウト東京連盟宗教委員会主催で講演会が行われた。講師は、ボーイスカウト東京連盟町田第16団団委員長で日本連盟宗教関係代表者会議構成員、カトリック築地協会主任司祭を務めている川原謙三師であった。演題は「スカウティングとカウンセリング」とうことで、現在のような複雑な社会に適応したものである。師の話から、カウンセリングに関してはまず、相手が困難や苦痛を伴った問題を抱えているのであるという。その相手を尊重し、感情や気持ちを理解し助言はあまり与えてはならない。そして非常に忍耐が必要であるが、聞き上手になることである。忍耐が必要といっても相談はせいぜい１時間程度の時間が良いとされ、それを日にちをおいて何回かに分けて行うことが効果的であるという。実際のところ、スカウティングは人間教育であり、人を幸せにするということがこのカウンセリングと共通している部分であると師は強調していた。スカウトとリーダーとのコミュニケーションを高め、その中からリーダーに対しスカウトが信頼して「実は～」といった問題の相談が出来るような隊・団の雰囲気作りが大切である。今回の講演会では一方的な講義形式ではなく、受講者にもカウンセリングの模擬実習が行われるなど、内容的にも非常に中身が濃いものとなった。

八王子地区からは11団　木村 良成（ＲＳ隊長）と14団　遠藤 敬洋（ＣＳ隊長）の2名が出席者した。記　木村宗教委員長

DL研究会開催される

第11回ＣＳ部門デンリーダー研究会が平成15年3月16日(日)に、新デンリーダーとなる方を含め7名の参加者によって、滝山キャンプ場で行なわれました。今年は、初めての屋外プログラムのためお天気が心配されましたが、曇りがちの少し寒い中で7名の方が受講されました。菊地コミ、森田実行委員の座講の後、受講者は2組編成になり、基本訓練が行なわれました。この後に竹やアルミ缶を利用したごはんの炊き方や、アルミで野菜を包み直火でおかずを作ったりいろいろと挑戦していただきました。食事は、各組ごとにデンリーダー役の各隊々長と談笑しながら行なわれました。また、実行隊がダッチオーブン料理?を用意し全員で食すことが出来ました。短い時間でしたがいろいろと受講していただきました。3時30分に全プログラムを終了し解散致しました。この体験が今後のスカウト活動に役立たれる事を期待します。

弥栄
記　実行委員長　15団CS隊長　加藤一利